

科目名	【グローバルコミュニケーション】 グローバルコミュニケーション(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	ILC
教員の略歴	* 2015~2021.3 英会話イーオン 非常勤教師 * 2021.5 ~ 株式会社国際教育社 ILC国際語学センター 非常勤英語教師として勤務						
授業の学習内容	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
到達目標	好きなことについて話すことができる。商品のレビューを読み、書くことができる 平日、週末のアクティビティについてのレポートを読む、また書くことができる。 道順について尋ねる、また教えることができる。場所についての特徴について読み、書くことができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する。						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	「現在形」陳述文を学ぶ(I,you,we)好きな事について話すことができる
2	「現在形」疑問文を学ぶ(I,you,we)技術の使い方を説明することができる
3	連絡を取り合う方法について話すことができる
4	商品のレビューを読む、書くことができる
5	定期試験:Time to Speak:「好きな音楽について」後期発表と連動する内容
6	現在形」陳述文(肯定形、否定形)を学ぶ(he,she,they)平日、週末のアクティビティについて話すことができる
7	「現在形」疑問文(yes/no/WH-question)を学ぶ。時間・ルーティンについて話すことができる
8	頻度副詞を使い、質問に短く答えることができる。
9	日常のアクティビティについてのレポートを読む、書くことができる、
10	定期試験:Time to Speak:「異なる週の活動について比較する」後期発表と連動する内容
11	[There(is,are),(a lot,some no)]の使い方を学ぶ。町にある場所について話す
12	「可算名詞・不可算名詞」を学ぶ。近所にある自然について話す
13	道順について尋ねる、また教える際に使う表現を学ぶ。情報を確認することができる。
14	場所についての特徴について読む、書くことができる
15	定期試験:Time to Speak:後期発表
【使用教科書・教材・参考書】 EVOLVE 1	

科目名	【 音響技術 】 フリートーク・ラジオ制作(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	岩尾 亮
学科・コース	音楽ビジネス科 昼間 I 部						
教員の略歴	俳優・放送タレント・舞台に出演しながらCMナレーション、楽曲制作、TV番組の出演も多数。また脚本・演出なども行い活動は多岐にわたる。						
授業の学習内容	①実践に近い形でナレーション技術を得るために必要な基礎を学ぶ ②実技を伴う「演技」が非常に大切である事を知る ③プロになるのは非常に困難な業種。どのようにこれからの人生に活かすかを学んでほしい ①～③から、スタジオ実習のみならず、あらゆる角度から楽しめる授業を目指す。						
到達目標	スタジオでの所作を学び、簡単なナレーションの実践、オーディオドラマの制作が行えるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	身体のウォーミングアップの方法、発声練習のメソッドを覚える(前半)事ができる
2	身体のウォーミングアップの方法、発声練習のメソッドを覚える(後半)事ができる
3	スタジオでの所作について、マイクの扱い方、自分の声を録音して聞いてみる
4	感情を動かすための準備、エチュードにて体の使い方を学ぶ事ができる
5	ナレーションとは何か、なぜ必要か、「聞く」と「やる」の違いを知る事ができる
6	15秒CMナレーションの実習、テクニックを学ぶ事ができる
7	言葉を使わない身体表現、パントマイム、ゼスチャー、気持ちを伝える訓練をする事ができる
8	ドラマ制作1「グループ分け・作品の打合せ」にて意見交換などの協調性を身に付ける事ができる
9	ドラマ制作2「簡単なストーリーを作ってみる」ことにより文章構成力を身に付ける事ができる
10	ドラマ制作3「録音」(前半)にてスタジオワークを知る事ができる
11	ドラマ制作4「録音」(後半)にてスタジオワークを身に付ける事ができる
12	ドラマ制作5「マスタリング、CD焼きこみ作業」にて作品に仕上げる事ができる
13	イベントや作品発表会を一般に向けて企画～聞き手を意識し脚本を作成する事ができる
14	【定期試験】イベントや作品発表会を一般に向けて開催～聞き手・観客にむけての表現力・伝達力を養う事ができる。
15	イベント反省会、意見交換や映像にて振り返る。自分の課題を見出す事ができる。
【使用教科書・教材・参考書】 □	

科目名	【音響技術】 フリートーク・ラジオ制作(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科 昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	岩尾 亮
教員の略歴	俳優・放送タレント・舞台に出演しながらCMナレーション、楽曲制作、TV番組の出演も多数。また脚本・演出なども行い活動は多岐にわたる。						
授業の学習内容	①実践に近い形でのナレーション技術を得るために必要な基礎を学ぶ ②実技を伴う「演技」が非常に大切である事を知る ③プロになるのは非常に困難な業種。どのようにこれからの人生に活かすかを学んでほしい ①～③から、スタジオ実習のみならず、あらゆる角度から楽しめる授業を目指す。						
到達目標	スタジオでの所作を学び、簡単なナレーションの実践、オーディオドラマの制作が行えるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	感情開放のためのエチュード、身体が反応することの重要性を知る事ができる
2	CMナレーション(15秒・30秒)を実践する
3	CMナレーション(長尺・モノローグ)にて自分の良い点・課題を知る事ができる
4	台本の読み方1(状況把握をできるようになる)
5	台本の読み方2(空間の解釈、たたずまいについて掴めるようになる)
6	作品鑑賞「オーディオドラマ・FMシアター」にてプロの技術・完成を感じる事ができる
7	オーディオドラマ(ラジオコント)実習から、難しさを知る事ができる
8	ワークショップ・群集に対して発表する行為、人前で緊張せず話す能力とはなにかを知る事ができる
9	ナレーション(長尺)、朗読の実習にて時間配分や強調どころを考える事ができる
10	オーディオドラマ・脚本制作にて文章・構成を学ぶ事ができる
11	オーディオドラマ・録音にてスタジオワークを学ぶ事ができる
12	オーディオドラマ(録音した作品)を聞き反省会～作品を客観的に聞く(見る)ことで課題を見つける事ができる
13	イベントや作品発表会を一般に向けて企画～聞き手を意識し脚本を作成する事ができる
14	【定期試験】イベントや作品発表会を一般に向けて開催～聞き手・観客にむけての表現力・伝達力を養う事ができる。
15	イベント反省会、意見交換や映像にて振り返る。自分の課題を見出す事ができる。
【使用教科書・教材・参考書】 □	

科目名	【 第二外国語 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	韓国語(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	具イギョン
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部						
教員の略歴	日本の語学スクール、文化スクールなどで韓国語講師を務める。						
授業の学習内容	ハングルを学び、読み書きを身につけて会話する。						
到達目標	① ハングルが読めるようになる。 ② 簡単な日常会話ができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	ガイダンス、自己紹介を学ぶことができる						
2	ハングルの構成を知ることができる						
3	ハングルを習得できる(基本母音・子音)						
4	ハングルを習得できる(激音・濃音)						
5	ハングルを習得できる(パッチム・合成母音)						
6	挨拶の表現を習得できる						
7	自己紹介の表現を習得できる 挨拶の文章が作成できる 練習発表						
8	「～は ～です」の表現の習得できる、会話練習						
9	「～ではありません」などの否定文の表現の習得できる、会話練習、 職業関連単語の学習						
10	「これ・それ・あれ」などの代名詞の学習ができる、会話練習						
11	疑問形の表現の習得ができる、家族関連単語の学習できる						
12	前期試験(筆記試験、口頭試験)						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することことができる						
15	イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することことができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 第二外国語 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	韓国語(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	具イギョン
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部						
教員の略歴	日本の語学スクール、文化スクールなどで韓国語講師を務める。						
授業の学習内容	様々な表現を学び会話する。						
到達目標	簡単な日常会話が自信をもって話せるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	「います・あります」、「いません・ありません」の表現の習得ができる、会話練習						
2	基本動詞の活用の学習ができる、会話練習						
3	形容詞の活用の学習ができる、会話練習						
4	漢字語数字と固有語数字の学習ができる、会話練習						
5	「いくら・いつ」などの表現の習得ができる、会話練習						
6	時間関連の表現の習得ができる、会話練習						
7	過去形の表現の習得ができる、会話練習						
8	敬語(現在系)の活用ができる						
9	敬語(過去形)の活用ができる						
10	確認の表現と逆節を理解することができる						
11	希望・可能・能力の表現ができる						
12	後期試験(筆記試験、口頭試験)						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 音楽理論 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	音楽理論(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	向坂千恵子
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部						
教員の略歴	札幌大谷短期大学音楽科にてピアノ実技、和声法・対位法など音楽理論を学ぶ。 ピアノ講師として音楽理論も踏まえたレッスン指導や、イベントでの演奏を行う。						
授業の学習内容	音楽の言語(共通認識)となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学ぶ。演習授業に必要な楽譜に対する理解を深め、演奏時の表現に活用できるようにする。また作曲・編曲アレンジの知識を身につけ、実践的な要素も養う。						
到達目標	楽譜から、調・メロディ内やハーモニーの音程・速さや強さ・奏法を読み取り、判断できるようになる。 音ではなく譜面上の音符から、楽曲のイメージを膨らませることができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	古代ギリシャの音楽理論から音楽の起源を知ることができる。						
2	楽譜の基礎知識(音名、変化記号等)を修得し判断できるようになる。						
3	音符、休符、連符について理解し記譜することができるようになる。						
4	単純拍子、複合拍子を理解し、楽曲を聴き単純拍子と複合拍子の違いを判別し、記譜することができるようになる。						
5	混合拍子(変拍子)を理解し、複雑な混合拍子の楽曲を聴き強拍を判断し、記譜することができるようになる。						
6	強起と弱起(アウフタクト)を理解し、シンコペーション、様々なリズムパターンを聴き判別できるようになる。						
7	長音階(メジャースケール)を理解し、記譜することができるようになる。						
8	短音階(マイナースケール)を理解し、記譜することができるようになる。						
9	音程(長短系の度数)を理解し、判断できるようになる。						
10	音程(完全系の度数、複音程)を理解し、判断できるようになる。						
11	調の相互関係(同主調、平行調、属調、下屬調)を理解し、判断できるようになる。						
12	転調、移調を理解し、様々な調の移調を記譜することができるようになる。						
13	反復記号、速度に関する記号、強弱記号についての表現を理解し、判別できるようになる。						
14	省略記号、奏法記号、装飾記号についての表現を理解し、判別できるようになる。						
15	前期末テストの実施 前期の総復習ができる。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 音楽理論 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	音楽理論(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	向坂千恵子
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部						
教員の略歴	札幌大谷短期大学音楽科にてピアノ実技、和声法・対位法など音楽理論を学ぶ。 ピアノ講師として音楽理論も踏まえたレッスン指導や、イベントでの演奏を行う。						
授業の学習内容	音楽の言語(共通認識)となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学ぶ。演習授業に必要な楽譜に対する理解を深め、演奏時の表現に活用できるようにする。また作曲・編曲アレンジの知識を身につけ、実践的な要素も養う。						
到達目標	それぞれのコードの機能(役割)、コードワークにおける一音の大切さを認識し、楽譜から楽曲の大まかな音の流れを理解できるようになる。音符の縦(コード)と横(各パート)の動きを見だし、楽曲の構成を判断できるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	音階、音程の復習をする。基本的なコード構成、コードネームを理解し記譜することができるようになる。						
2	3和音(Triad)の構成を理解し記譜することができるようになる。						
3	4和音(7thコード)の構成を理解し記譜することができるようになる。						
4	3和音、4和音の構成について復習する。3和音、4和音の小テストを実施する。						
5	コードの転回形について理解し、基本形との違いを判別できるようになる。						
6	メジャーダイアトニックコード及びその機能を理解し、コード進行を読解し記譜することができるようになる。						
7	各ケーデンス、定番コードパターンなど、メジャーキーにおけるコードワークの基礎を修得し記譜することができるようになる。						
8	マイナーダイアトニックコード及びその機能を理解し、コード進行を読解し記譜することができるようになる。						
9	マイナーキーにおけるコードワークの基礎を修得し記譜することができるようになる。						
10	コードワークの小テストを実施する。様々な代理コードを理解し、代理コードを用いた変化を判別できるようになる。						
11	特殊なコード(6th、sus4、add9など)、テンションについて理解し記譜することができるようになる。						
12	テンションを含むコードワークを修得し記譜することができるようになる。						
13	アベイラブルノートスケール、その他様々なスケールについて理解し記譜することができるようになる。						
14	ノンコードトーン(非和声音)を理解し判別できるようになる。						
15	後期末テストの実施 後期の総復習ができる。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 マーケティング 】 Band Ensemble(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	小野貴博 加藤菜保
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部						
教員の略歴	ギタリスト、コンポーザー、サウンド・プロデューサー。avexよりメジャー・デビュー。サウンド・プロデューサーには、佐久間正英、島田昌典、片寄明人、石田ショーキチらを迎え、ギタリストとして高い評価を受ける”						
授業の学習内容	課題曲による合奏形式の実践的歌唱を習得する。技術面だけでなく、バンドアンサンブルを通してマインド面、コミュニケーション力を養う。この授業ではアンサンブルをメインに行うため、事前準備の授業でしっかりと課題曲を演奏できるように学ぶ事が重要。						
到達目標	フレーズ分析と再現から技術を習得し、バリエーションと音楽知識を広げ、サウンド及び合奏の理解を深める。各ジャンルの演奏を素早く熟せるようになる事を目標とする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	基本的な8ビートの構造を理解し、演奏表現することができるようになる						
2	8ビートのバリエーションを理解し、演奏表現することができるようになる						
3	8ビートにおける構造バリエーションから、フレーズを創造し構築することができるようになる						
4	基本的な16ビートの構造を理解し、演奏表現することができるようになる						
5	16ビートのバリエーションを理解し、演奏表現することができるようになる						
6	16ビートにおける構造バリエーションから、フレーズを創造し構築することができるようになる						
7	ポピュラーミュージックにおけるコード進行の役割を理解し、説明できるようになる						
8	ポピュラーミュージックにおけるフレーズのパターンを理解し、演奏表現できるようになる						
9	演奏におけるダイナミクスの重要性を理解し、表現できるようになる						
10	タッチコントロール、奏法の変化によるダイナミクスに与える影響を理解し、表現できるようになる						
11	より音楽的な感性を持って自らの意思でダイナミクスを表現することができるようになる						
12	前期テストを通じて基礎的な表現方法を身に着ける						
13	イベント週を通して周り協力しながら作品をつくることできる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 マーケティング 】 Band Ensemble(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	小野貴博 加藤菜保
学科	音楽ビジネス科屋間Ⅰ部						
教員の略歴	ギタリスト、コンポーザー、サウンド・プロデューサー。avexよりメジャー・デビュー。サウンド・プロデューサーには、佐久間正英、島田昌典、片寄明人、石田ショーキチらを迎え、ギタリストとして高い評価を受ける”						
授業の学習内容	課題曲による合奏形式の実践的歌唱を習得する。技術面だけでなく、バンドアンサンブルを通してマインド面、コミュニケーション力を養う。この授業ではアンサンブルをメインに行うため、事前準備の授業でしっかりと課題曲を演奏できるように学ぶ事が重要。						
到達目標	フレーズ分析と再現から技術を習得し、バリエーションと音楽知識を広げ、サウンド及び合奏の理解を深める。各ジャンルの演奏を素早く熟せるようになる事を目標とする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	楽曲1を分析し、構造を理解できるようになる						
2	楽曲1について発展させオリジナルフレーズを構築できるようになる						
3	楽曲2を分析し、構造を理解できるようになる						
4	楽曲2について発展させオリジナルフレーズを構築できるようになる						
5	楽曲における休符の感じ方と重要性について理解でき、演奏表現できるようになる						
6	シャッフルのビート感を理解でき、演奏表現できるようになる						
7	シャッフルのバリエーションを理解し、演奏表現できるようになる						
8	楽曲ごとの音作りについて、既存機材を用いた音作りを理解できるようになる						
9	エフェクターを用いた音作りを理解し、表現できるようになる						
10	ポピュラーミュージックにおける、コンプレッサーの重要性を理解できるようになる						
11	コンプレッサーを使用した変化を研究し、表現できるようになる						
12	後期テストを通じて応用的な表現方法を身に着ける						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることのできる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することのできる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することのできる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(1)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間I部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OF LINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第一回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合い。
2	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ①
3	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ②
4	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合いが出来るようになる。
5	第二回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いが出来るようになる。
6	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ③
7	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ④
8	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合いが出来るようになる。
9	第三回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いが出来るようになる。
10	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑤
11	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑥
12	【定期試験】学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントのプレゼンが出来るようになる
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(2)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OFLINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第全国大会反省会、第四回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いが出来るようになる。
2	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑦
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑧
6	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシート作成、改善ポイントの話し合い、プレゼンの練習、人前で話す事に慣れる事が出来るようになる。
7	第五回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いが出来るようになる。
8	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑨
9	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑩
10	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシート作成、改善ポイントの話し合い、自分の意見を言えるスキルを身に付ける事が出来るようになる。
11	第六回課題 we are楽曲制作 スケジュール、役割分担が出来るようになる。
12	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑪
13	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑫
14	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシート作成 今期の反省、来季に向けての話し合いが出来るようになる。
15	【定期試験】We areにて学んだことを活かし、実践できるようになる。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	【作詞・作曲・編曲】 スタジオワークベーシック(1)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間I部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	鶴羽宏一
教員の略歴	音響スタッフ入社後、ヒットスタジオのメインエンジニアとして、レコーディング、PA業務に携わる。令和2年より、株式会社ヒットスタジオの代表取締役役に就任、エンジニア業務、ヒットスタジオの経営にも携わる						
授業の学習内容	基礎的な音響理論、機材知識を吸収し、レコーディングスタジオを多角的に使いこなし、実務的なレコーディングの作法を学ぶ。ミュージシャンとコミュニケーションを取りながら要望を形にできる人材の育成を目指す。						
到達目標	校内のレコーディングスタジオを使いこなせるようになり、1人でもレコーディングを完結させられる技術と知識を身につける。他コースの学生、講師、外部のミュージシャンと意思疎通を図るコミュニケーション能力を身につける。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	レコーディングデモンストレーションから、レコーディングの仕事を理解出来るようになる。
2	前回の復習から課題の設定する。
3	ミキシングデモンストレーションから、ミキシングの仕事を理解出来るようになる。
4	前回の復習から課題の設定を行う。
5	コンソール・MTR等のレコーディング機材の使用方法を理解出来るようになる。
6	マイクの特性・マイキング方法を理解出来るようになる。
7	レコーディングのオペレーション・アーティストのとのコミュニケーションの取り方が理解出来るようになる。
8	実習を通して、ドラムのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
9	実習を通して、ギター・ベースのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
10	実習を通して、ヴォーカルのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
11	前回までに収録した素材を用い、ドラム・ベース・ギターのミキシングが出来るようになる。
12	前回ミキシングをした楽器類に加え、ヴォーカルのミキシングが出来るようになる。
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。①
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。②
15	【定期試験】イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	【作詞・作曲・編曲】 スタジオワークベーシック(2)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間I部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	鶴羽宏一
教員の略歴	音響スタッフ入社後、ヒットスタジオのメインエンジニアとして、レコーディング、PA業務に携わる。令和2年より、株式会社ヒットスタジオの代表取締役役に就任、エンジニア業務、経営にも携わる						
授業の学習内容	基礎的な音響理論、機材知識を吸収し、レコーディングスタジオを多角的に使いこなし、実務的なレコーディングの作法を学ぶ。ミュージシャンとコミュニケーションを取りながら要望を形にできる人材の育成を目指す。						
到達目標	校内のレコーディングスタジオを使いこなせるようになり、1人でもレコーディングを完結させられる技術と知識を身につける。他コースの学生、講師、外部のミュージシャンと意思疎通を図るコミュニケーション能力を身につける。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	アウトボード類を積極的に用いたドラム・パーカッションのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
2	アウトボード類を積極的に用いたベース・ギター・キーボードのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	アウトボード類を積極的に用いたヴォーカルのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
6	アウトボード類を積極的に用いたコーラスのマイキング・レコーディングが出来るようになる。
7	前回までに収録した楽器類の素材を使用し、プラグインを積極的に用いたミキシングが出来るようになる。
8	前回までにミキシングした楽器類に加え、プラグインを積極的に用いヴォーカル・コーラスのミキシングが出来るようになる。
9	実技試験
10	マスタリング作業を理解出来るようになる。
11	音源制作におけるプロジェクト管理・データ管理等のトータルマネージメントを理解出来るようになる。
12	レコーディングスタジオのマシナールームのシステム構成を理解出来るようになる。
13	レコーディングスタジオのパッチベイ・ウォールパッチの構造を理解出来るようになる。
14	レコーディングスタジオのブースの音響調整(反響・吸音・防音)について理解出来るようになる。
15	We areにて学んだことを活かし、実践出来るようになる。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作(1)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間I部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	ProToolsやLogicPro等のDAWを使った音楽制作ワークフローを学びながら、作曲・作詞・アレンジの技術を身につけていきます。作曲の手法を基礎から学びます。音楽理論やDAWのテクニック、サウンドアレンジを学びながら、楽曲制作の技術を高めます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	音楽の3要素と作曲のプロセスを理解出来るようになる
2	MIDIとAUDIOとDAWを理解出来るようになる
3	デモ制作の手法を理解出来るようになる
4	インスピレーションとモチーフを理解出来るようになる
5	コード・プログレッション基礎を理解出来るようになる #1
6	コード・プログレッション基礎を理解出来るようになる #2
7	DAWテクニック基礎を理解出来るようになる #1
8	DAWテクニック基礎を理解出来るようになる #2
9	サウンドアレンジテクニック基礎を理解出来るようになる #1
10	サウンドアレンジテクニック基礎を理解出来るようになる #2
11	前期課題制作 #1
12	前期課題制作 #2
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作 (2)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	ProToolsやLogicPro等のDAWを使った音楽制作ワークフローを学びながら、作曲・作詞・アレンジの技術を身につけていきます。作曲の手法を基礎から学びます。音楽理論やDAWのテクニック、サウンドアレンジを学びながら、楽曲制作の技術を高めます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	歌詞とメロディの合わせ方を理解出来るようになる #1
2	歌詞とメロディの合わせ方を理解出来るようになる #2
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	リズムックアプローチを理解出来るようになる #1
6	リズムックアプローチを理解出来るようになる #2
7	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #1
8	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #2
9	サウンドアレンジテクニック中級レベルを理解出来るようになる #1
10	サウンドアレンジテクニック中級レベルを理解出来るようになる #2
11	オーケストレーション基礎を理解出来るようになる #1
12	オーケストレーション基礎を理解出来るようになる #2
13	後期課題制作 #1
14	後期課題制作 #2
15	卒業・進級制作展 We are で 今までに学んだことを活かし、実践できるようになる。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【 音楽制作 】 音声・動画編集(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	福井龍平
教員の略歴	北海道のダンスシーンを中心に映像制作を行う。北海道や市町村と連携した事業PR映像他、YouTube等の各種SNS映像コンテンツ、TVCM及びテレビプログラムの映像制作の実績。						
授業の学習内容	本クラスを通じて「ダンサー×映像」という表現ツールを増やし自らのSNS等でレベル・質の高いコンテンツを作成し配信することができる能力を身につける。 また、職業選択肢の一つとして必要な知識を獲得する。						
到達目標	①シーンに応じた撮影設定、手法を身につける。 ②マルチカメラ編集を会得する。 ③完成形をイメージした撮影方法を考え編集する。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	授業シラバスの確認・身近な機材でのカメラ設定を知ることができる。
2	【撮影実習A】ダンスシーンに有効な撮影技法を学び実践できる。(ジンバル撮影)
3	【編集実習A】マルチカメラ編集を学ぶことができる。
4	一眼レフを使用しカメラ設定を知ることができる。
5	ダンスシーンに有効な照明技術を習得することができる。
6	【撮影実習B-1】ロケーションを変えて編集イメージを考えながら撮影しができる。
7	【撮影実習B-2】ストーリー構成を考えて撮影することができる。
8	【編集実習B-1】マルチカメラ編集の応用を学び、トランジションエフェクトを活用することができる。
9	【編集実習B-2】各種媒体に合わせた形で映像を校正し、実際にSNSで投稿し発信することができる。
10	【期末試験】試験に向けてチームを作り映像撮影に取り組むことができる。
11	【期末試験】試験に向けてチームを作り映像編集に取り組むことができる。
12	【期末試験】完成した映像をそれぞれが評価し次に向けた改善点を見つけ意見交流ができる。
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることできる
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる
【使用教科書	

科目名	【 音楽制作 音声・動画編集(2) 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科 昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	福井龍平
教員の略歴	北海道のダンスシーンを中心に映像制作を行う。北海道や市町村と連携した事業PR映像他、YouTube等の各種SNS映像コンテンツ、TVCM及びテレビプログラムの映像制作の実績。						
授業の学習内容	本クラスを通じて「ダンサー×映像」という表現ツールを増やし自らのSNS等でレベル・質の高いコンテンツを作成し配信することができる能力を身につける。 また、職業選択肢の一つとして必要な知識を獲得する。						
到達目標	①シーンに応じた撮影設定、手法を身につける。 ②マルチカメラ編集を会得する。 ③完成形をイメージした撮影方法を考え編集する。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	授業シラバスの確認・身近な機材でのカメラ設定を知ることができる。
2	【撮影実習A】ダンスシーンに有効な撮影技法を学び実践できる。(ジンバル撮影)
3	【編集実習A】マルチカメラ編集を学ぶことができる。
4	一眼レフを使用しカメラ設定を知ることができる。
5	ダンスシーンに有効な照明技術を習得することができる。
6	【撮影実習B-1】ロケーションを変えて編集イメージを考えながら撮影しができる。
7	【撮影実習B-2】ストーリー構成を考えて撮影することができる。
8	【編集実習B-1】マルチカメラ編集の応用を学び、トランジションエフェクトを活用することができる。
9	【編集実習B-2】各種媒体に合わせた形で映像を校正し、実際にSNSで投稿し発信することができる。
10	【期末試験】試験に向けてチームを作り映像撮影に取り組むことができる。
11	【期末試験】試験に向けてチームを作り映像編集に取り組むことができる。
12	【期末試験】完成した映像をそれぞれが評価し次に向けた改善点を見つけ意見交流ができる。
13	進級制作展 準備週を通して周りとの協力しなから作品をつくることできる
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる
【使用教科書	

科目名		【 イヤートレーニング 】 イヤートレーニング(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科昼間Ⅱ部		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	堀 裕
教員の略歴	ジャズピアニスト田中朋子氏に指示、音楽サークルにて研鑽を積む他、プロの前座を務める。卒業後はオリジナルのバンドでCDリリース、コンテスト出場など経験。現在に至るまで数多くのグループ、ヴォーカリストのサポート、楽曲制作などの活動している。							
授業の学習内容	音楽に関わる全ての分野、現場で必要とされる感覚である。しかし一朝一夕で身につくものではないため、この一年を通して感覚を鍛えていく。自分が出してる音、出した音、また耳で聴こえている音がどの音に当たるかを導き出せるように感覚を強化していく。							
到達目標	3和音、4和音の構成と種類を理解し、メロディーの裏にあるコード、曲全体のコード進行を捉えることができる。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	3和音(トライアド)の基本形(メジャー・マイナー)を聴き、判別できるようにする。コードの構成を理解できる。
2	ダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。
3	Keyをチェンジしてダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。
4	3和音(トライアド)の変化系を学び、トレースできるようになる。
5	3和音(トライアド)の展開形を学び、トレースできるようになる。
6	3和音(トライアド)のバリエーションを学び、トレースできるようになる。
7	実際の楽曲を分析よくあるコード進行を学び、コードネームで書けるようになる。
8	実際の楽曲を分析よくあるコード進行を学び、コードネームで書けるようになる。
9	Practice Test 理解不足の部分を洗い出すことができる。
10	4和音(セブンス)の基本形(メジャー・マイナー)を聴き、判別できるようにする。コードの構成を理解できる。
11	4和音のダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。
12	4和音(セブンス)の変化系を学び、トレースできるようになる。
13	4和音(セブンス)の展開形を学び、トレースできるようになる。
14	後期定期試験 後期学んだことの復習ができる。
15	後期試験解説 間違えた部分を見直し解釈することができる。

【使用教科書・教材・参考書】

※学校から支給されたIpadを使用。接続可能なイヤホン・ヘッドホン持参必須。五線譜はこちらで用意します。資料は適宜配布予定。

科目名	【 イヤートレーニング 】 イヤートレーニング(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	堀裕
教員の略歴	ジャズピアニスト田中朋子氏に指示、音楽サークルにて研鑽を積む他、プロの前座を務める。 卒業後はオリジナルのバンドでCDリリース、コンテスト出場など経験。 現在に至るまで数多くのグループ、ヴォーカリストのサポート、楽曲制作などの活動している。						
授業の学習内容	音楽に関わる全ての分野、現場で必要とされる感覚を、一年を通して鍛えていく。自分が出している音、出したい音、また耳で聴こえている音がどの音に当たるかを導き出せるように感覚を強化していく。						
到達目標	代表的なスケールを使い、音と音の距離感、高低差などの音像を掴むことができる。 様々なメロディーを聴きリズムを捉え、正確な音符で書けるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	マインド研修～イヤートレーニングの重要性。鍵盤の配列(全音・半音)の解説/五線譜の読み方、書き方。Cメジャースケールの構成を理解できる。						
2	拍子の捉え方、全音符・二分音符・四分音符を捉えられるようになる。						
3	全休符・二分休符・四分休符を理解できる。						
4	Cメジャースケールを使ってInterval1～4度内の音程の変化、響きを捉えて書けるようになる。						
5	Cメジャースケールを使ってInterval1～8度内の音程の変化、響きを捉えて書けるようになる。						
6	8分音符・休符について理解し音程の変化と合わせて書けるようになる。						
7	16分音符・休符について理解し音程の変化と合わせて書けるようになる。						
8	三連符について理解し音程の変化と合わせて書けるようになる。						
9	Practice Test 理解不足の部分を洗い出すことができる。						
10	C以外のKey、マイナースケールについて学習し音程、それぞれの響きの変化に対応し書けるようになる。①						
11	C以外のKeyやマイナースケールについて学習し音程、それぞれの響きの変化に対応し書けるようになる②						
12	符点の音符や休符について理解できる。						
13	イベント週を通して周りとの協力しなから作品をつくることことができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することことができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することことができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 イヤートレーニング 】 イヤートレーニング(2)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	堀裕
教員の略歴	ジャズピアニスト田中朋子氏に指示、音楽サークルにて研鑽を積む他、プロの前座を務める。 卒業後はオリジナルのバンドでCDリリース、コンテスト出場など経験。 現在に至るまで数多くのグループ、ヴォーカリストのサポート、楽曲制作などの活動している。						
授業の学習内容	音楽に関わる全ての分野、現場で必要とされる感覚を、一年を通して鍛えていく。自分が出している音、出したい音、また耳で聴こえている音がどの音に当たるかを導き出せるように感覚を強化していく。						
到達目標	代表的なスケールを使い、音と音の距離感、高低差などの音像を掴むことができる。 様々なメロディーを聴きリズムを捉え、正確な音符で書けるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	3和音(トライアド)の基本形(メジャー・マイナー)を聴き、判別できるようにする。コードの構成を理解できる。						
2	ダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。						
3	Keyをチェンジしてダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。						
4	3和音(トライアド)の変化系を学び、トレースできるようになる。						
5	3和音(トライアド)の展開形を学び、トレースできるようになる。						
6	3和音(トライアド)のバリエーションを学び、トレースできるようになる。						
7	実際の楽曲を分析よくあるコード進行を学び、コードネームで書けるようになる。						
8	実際の楽曲を分析よくあるコード進行を学び、コードネームで書けるようになる。						
9	Practice Test 理解不足の部分を洗い出すことができる。						
10	4和音(セブンス)の基本形(メジャー・マイナー)を聴き、判別できるようにする。コードの構成を理解できる。						
11	4和音のダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。						
12	4和音(セブンス)の変化系を学び、トレースできるようになる。						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 ダンスファンダメンタル 】 BALLET初級(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	榎谷まい子
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部						
教員の略歴	2歳よりバレエを始め、2002年より指導に携わる。2005年より約2年アメリカコロラドバレエ団に所属。帰国後、日本で踊る。近年は意欲的に振付にも取り組んでいる。						
授業の学習内容	①体の柔軟性・体幹・筋力の必要性を学び、ケガをしにくい体づくりを目指す。 ②他のダンスにも、音楽性・表現力などを生かせるような授業。 ③体を自由自在に操れるようになり、踊ることを楽しめるようになる。 ④バレエの作品に挑戦する。						
到達目標	①美しい姿勢で立てるようになる。 ②自分の欠点に気づき、克服できるようになる。 ③しなやかな動きができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	自分の体と向き合い、課題を見つけることができる						
2	基礎の動きの復習ができる						
3	上半身を優雅に動かすことができる						
4	下半身を正確に動かすことができる						
5	ジャンプでプリエの重要性が分かるようになる						
6	ターンで首の付け方、体幹の重要性が分かるようになる						
7	長めのコンビネーションに挑戦できる						
8	長めのコンビネーションができるようになる						
9	短い課題曲を覚えることができる						
10	短い課題曲を踊ることができる						
11	前期定期試験 課題曲に挑戦し、披露できる						
12	前期の復習をし、後期に向けて目標を考えることができる						
13	イベント週を通して周りと協力しなから作品をつくることができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 ダンスファンダメンタル 】 BALLET初級(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	榎谷まい子
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部						
教員の略歴	2歳よりバレエを始め、2002年より指導に携わる。2005年より約2年アメリカコロラドバレエ団に所属。帰国後、日本で踊る。近年は意欲的に振付にも取り組んでいる。						
授業の学習内容	①体の柔軟性・体幹・筋力の必要性を学び、ケガをしにくい体づくりを目指す。 ②他のダンスにも、音楽性・表現力などを生かせるような授業。 ③体を自由自在に操れるようになり、踊ることを楽しめるようになる。 ④バレエの作品に挑戦する。						
到達目標	①美しい姿勢で立てるようになる。 ②自分の欠点に気づき、克服できるようになる。 ③しなやかな動きができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	自分の欠点と向き合うことができる						
2	基礎の動きの復習ができる						
3	ワルツなどの優雅な動きができる						
4	全身を自由に動かすことができる						
5	ターンの種類を覚えることができる						
6	ダイナミックに動ける						
7	長めのコンビネーションに挑戦できる						
8	長めのコンビネーションができる						
9	バレエの作品を知ることができる						
10	バレエの作品を覚えることができる						
11	バレエの作品に挑戦し披露ができる						
12	後期定期試験						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【プロダクション実務】 楽曲制作プロダクション(1)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての基礎知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、 レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにす る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	パソコンの基礎的な使い方、ProToolsの基礎的な使い方の説明。
2	ProToolsの基礎的な使い方の説明。
3	イコライザー、コンプレッサーの基本的な使い方の説明と実践。
4	AUXトラックを使った、グループやリバーブ、ディレイなどの説明と実践。
5	オートメーションやクリップゲイン、パンの説明。アナライザーやVUメーターの使い方の説明と実践。
6	これまでの復讐を兼ねて、INST2MIXのボーカルミックスの実践。
7	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
8	アコースティックギターとボーカルのミックスの実践。
9	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
10	ドラムの素材を用いて、位相の説明とドラムのミックス練習。
11	ドラム、ベース、ギター、ボーカルのミックスの実践。
12	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
13	音楽産業の流れを意識したイベント制作をすることができる。①
14	音楽産業の流れを意識したイベント制作をすることができる。②
15	【定期試験】イベントを通しての知識定着の確認。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【楽器演奏】 楽曲制作プロダクション(2)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての基礎知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、 レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにす る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	各楽器やボーカル等のタイミングエディットや波形編集の練習。
2	前回配布した素材を使用してミックス。
3	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
4	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
5	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
6	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
7	バンド編成のミックス。(実技試験)
8	前回の続き。(実技試験)
9	前回の続き。(実技試験)
10	前回の続き。(実技試験)
11	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
12	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
13	音楽産業の流れを意識したイベント制作をすることができる。①
14	音楽産業の流れを意識したイベント制作をすることができる。②
15	【定期試験】イベントを通しての知識定着の確認。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【キャリア教育】 キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	磯野 秀太
教員の略歴	大阪芸術大学放送学科卒業後 映像制作会社・株式会社東通インフィニティにてディレクターとして3年半勤務						
授業の学習内容	自立した人になるためのキャリア形成を明確にしていく						
到達目標	自己の強みや興味、価値観を理解し、自己を適切に表現する能力を発展させます。自己分析やフィードバックの受け取り方を学び、自信を持って自己をアピールする方法を習得します。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	仲間作りワークショップ・スカウト(契約書)について学ぶ①
2	仲間作りワークショップ・スカウト(契約書)について学ぶ②
3	業界研究・電話マナー/メールマナーを理解できる①
4	業界研究・電話マナー/メールマナーを理解できる②
5	主体性ワークショップができる
6	計画カワークショップができる
7	傾聴カワークショップができる
8	発信カワークショップができる
9	ホスピタリティについて学ぶ①
10	ホスピタリティについて学ぶ②
11	ホスピタリティについて学ぶ③
12	チームワークカワークショップができる
13	創造カワークショップができる
14	働きかけカワークショップができる
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名		【キャリア教育】 キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部Ⅱ		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	磯野 秀太
教員の略歴	大阪芸術大学放送学科卒業後 映像制作会社・株式会社東通インフィニティにてディレクターとして3年半勤務							
授業の学習内容	自立した人になるためのキャリア形成を明確にしていく							
到達目標	効果的なコミュニケーションスキルと人間関係構築能力を向上させます。チームでの協力やリーダーシップの発揮、他者との良好な関係構築など、職場や社会で必要とされるコミュニケーション能力を養います。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	面接礼法について実践できる①
2	面接礼法について実践できる②
3	ファイナンス系(貯蓄)・ITリテラシーについて理解できる①
4	ファイナンス系(貯蓄)・ITリテラシーについて理解できる②
5	履歴書の書き方について理解する
6	履歴書が書くことができる
7	SDGsについて理解できる
8	目標達成シートを書くことができる①
9	目標達成シートを書くことができる②
10	組織に入るといことについて理解できる①
11	組織に入るといことについて理解できる②
12	自分を成長させるキャリアパスを作ることができる①
13	自分を成長させるキャリアパスを作ることができる②
14	電話マナー/メールマナー・名刺の渡し方を実践することができる
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【 音響技術 】 フリートーク・ラジオ制作 (3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科 昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	岩尾 亮
教員の略歴	俳優・放送タレント・舞台に出演しながらCMナレーション、楽曲制作、TV番組の出演も多数。また脚本・演出なども行い活動は多岐にわたる。						
授業の学習内容	①実践に近い形でナレーション技術を得るために必要な基礎を学ぶ ②実技を伴う「演技」が非常に大切である事を知る ③プロになるのは非常に困難な業種。どのようにこれからの人生に活かすかを学んでほしい ①～③から、スタジオ実習のみならず、あらゆる角度から楽しめる授業を目指す。						
到達目標	スタジオでの所作を学び、簡単なナレーションの実践、オーディオドラマの制作が行えるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する。						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	身体のウォーミングアップの方法、発声練習のメソッドを覚える(前半)事ができる
2	身体のウォーミングアップの方法、発声練習のメソッドを覚える(後半)事ができる
3	スタジオでの所作について、マイクの扱い方、自分の声を録音して聞いてみる
4	感情を動かすための準備、エチュードにて体の使い方を知る事ができる
5	ナレーションとは何か、なぜ必要か、「聞く」と「やる」の違いを知る事ができる
6	15秒CMナレーションの実習、テクニックを学ぶ事ができる
7	言葉を使わない身体表現、パントマイム、ゼスチャー、気持ちを伝える訓練をする
8	ドラマ制作1「グループ分け・作品の打合せ」にて意見を交わしプレゼンテーション能力を高める事ができる
9	ドラマ制作2「簡単なストーリーを作ってみる」
10	ドラマ制作3「録音」(前半)を行いCD作品の制作過程を学ぶ事ができる
11	ドラマ制作4「録音」(後半)を行いCD作品制作の過程を学ぶ事ができる
12	ドラマ制作5「マスタリング、CD焼きこみ作業」を行い作品完成までの流れを知る事ができる
13	イベントや作品発表会を一般に向けて企画～聞き手を意識し脚本を作成する事ができる
14	【定期試験】イベントや作品発表会を一般に向けて開催～聞き手・観客にむけての表現力・伝達力を養う事ができる。
15	イベント反省会、意見交換や映像にて振り返る。自分の課題を見出す事ができる。
【使用教科書・教材・参考書】 □	

科目名	【音響技術】 フリートーク・ラジオ制作(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科 昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	岩尾 亮
教員の略歴	俳優・放送タレント。各劇団等で活躍後、CMナレーション、楽曲制作、TV番組の出演も多数。また脚本・演出なども行い活動は多岐にわたる。						
授業の学習内容	①実践に近い形でのナレーション技術を得るために必要な基礎を学ぶ ②実技を伴う「演技」が非常に大切である事を知る ③プロになるのは非常に困難な業種。どのようにこれからの人生に活かすかを学んでほしい ①～③から、スタジオ実習のみならず、あらゆる角度から楽しめる授業を目指す。						
到達目標	スタジオでの所作を学び、簡単なナレーションの実践、オーディオドラマの制作が行えるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する。						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	感情開放のためのエチュード、身体が反応することの重要性を知る事ができる
2	CMナレーション(15秒・30秒)を実践する事ができる
3	CMナレーション(長尺・モノログ)を作成する事ができる
4	台本の読み方1(状況把握をできるようになる)
5	台本の読み方2(空間の解釈、たたずまいについて掘めるように)
6	作品鑑賞「オーディオドラマ・FMシアター」にて演出意図を読み取る事ができる
7	オーディオドラマ(ラジオコント)実習から、難しさを知る事ができる
8	ワークショップ・群集に対して発表する行為、人前で緊張せず話す能力とはなにかを知る事ができる
9	ナレーション(長尺)、朗読の実習から技術を身に付ける事ができる
10	オーディオドラマ・脚本制作を行い発想力・構成力を身に付ける事ができる
11	オーディオドラマ・録音作業をお互いに行い技術・演出力を身に付ける事ができる
12	オーディオドラマ・発表会を行い感想や意見交換をする事ができる
13	イベントや作品発表会を一般に向けて企画～聞き手を意識し脚本を作成する事ができる
14	【定期試験】イベントや作品発表会を一般に向けて開催～聞き手・観客にむけての表現力・伝達力を養う事ができる。
15	イベント反省会、意見交換や映像にて振り返る。自分の課題を見出す事ができる。
【使用教科書・教材・参考書】 □	

科目名	【音声編集】 イベントプロジェクト対策(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	佐々木萌
教員の略歴	25歳から照明家として、札幌・東京の照明会社と共に、現場では主にピンスポットオペレーターを担当。ダンスイベントや音楽イベントでメインオペレーターも担当。						
授業の学習内容	学内外にて行われるイベント・プロジェクトに対する事前準備、話し合い、打ち合わせ等を行う。イベント、プロジェクトに合わせた照明プランニング、シュート、そのほか必要機材の準備等を行う。各種イベント等に対する照明仕込み図作成のノウハウを学ぶ。各種イベントに合わせた照明プランを作成することで各々のセンスを磨く。使用する照明器具、調光卓、調光システムを理解して、スムーズに操作するスキルを身に着ける。						
到達目標	各々個人が打ち合わせや話し合いの中で必要な情報をそろえられること。イベントに合わせた照明プランニングを作成できるスキルを取得する。調光卓の理解を深めプログラムのスピードアップを目指す						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	照明卓の操作基礎を学ぶ。灯りデーターを作りオペレートが出来る
2	イベント(学祭)に向けて灯りの構成を学びオペレートが出来る
3	イベント(学祭)に向けて担当を決め、灯りのプランが出来る
4	イベント(学祭)に向けての情報収集と準備が出来る
5	イベント(学祭)を終えて反省と次のイベントに向けての心構えを学ぶ
6	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る①
7	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る②
8	9月イベントに向けて灯りの構成を学びオペレートが出来る①
9	9月イベントに向けて灯りの構成を学びオペレートが出来る②
10	9月イベントに向けて担当を決め、灯りのプランが出来る
11	9月イベントに向けての情報収集と準備が出来る
12	9月イベントに向けての照明リハーサルが出来る①
13	9月イベントに向けての照明リハーサルが出来る②
14	9月イベントに向けての照明リハーサルが出来る③
15	前期定期試験

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい恰好、黒っぽい服が好ましい、 皮手袋、 その他

科目名	【音声編集】 イベントプロジェクト対策(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	佐々木萌
教員の略歴	25歳から照明家として、札幌・東京の照明会社と共に、現場では主にピンスポットオペレーターを担当。ダンスイベントや音楽イベントでメインオペレーターも担当。						
授業の学習内容	学内外にて行われるイベント・プロジェクトに対する事前準備、話し合い、打ち合わせ等を行う。イベント、プロジェクトに合わせた照明プランニング、シュート、そのほか必要機材の準備等を行う。各種イベント等に対する照明仕込み図作成のノウハウを学ぶ。各種イベントに合わせた照明プランを作成することで各々のセンスを磨く。使用する照明器具、調光卓、調光システムを理解して、スムーズに操作するスキルを身に着ける。						
到達目標	各々個人が打ち合わせや話し合いの中で必要な情報をそろえられること。イベントに合わせた照明プランニングを作成できるスキルを取得する。調光卓の理解を深めプログラムのスピードアップを目指す						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る①
2	灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る①
3	昨年のミュージカルの映像を見て内容を理解出来る
4	ミュージカルに向けて担当を決め灯りをプラン出来る
5	ミュージカルの実際の仕込み図を用いてシミュレーションソフトでデータの打ち込みが出来る①
6	ミュージカルの実際の仕込み図を用いてシミュレーションソフトでデータの打ち込みが出来る②
7	ミュージカル終えての灯りのプランとオペレートのスキルアップ出来る
8	イベント(We are)に向けての話し合いと取り組み方が出来る①
9	イベント(We are)に向けての話し合いと取り組み方が出来る②
10	イベント(We are)に向けて担当を決め灯りのプランと取り組み方が出来る
11	イベント(We are)に向けての話し合いと取り組み方が出来る
12	イベントに向けてシミュレーションソフトでデータの打ち込みが出来る①
13	イベントに向けてシミュレーションソフトでデータの打ち込みが出来る②
14	イベントに向けてシミュレーションソフトでデータの打ち込みが出来る③
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	
動きやすい恰好、黒っぽい服が好ましい、 皮手袋、 その他	

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(3)	必修 選択	必修選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OF LINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第一回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
2	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ①
3	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ②
4	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシート作成、改善ポイントの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
5	第二回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
6	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ③
7	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ④
8	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシート作成、改善ポイントの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
9	第三回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
10	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑤
11	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑥
12	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシート作成、改善ポイントの話し合い、プレゼンを自ら進める事が出来るようになる
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	【定期試験】イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(4)	必修 選択	必修選択	年次	2	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OF LINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第全国大会反省会、第四回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
2	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑦
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑧
6	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、プレゼンの練習、人前で話す事に慣れる事が出来るようになる。
7	第五回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
8	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑨
9	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑩
10	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、自分の意見を言えるスキルを身に付ける事が出来るようになる。
11	第六回課題 we are楽曲制作 スケジュール、役割分担を自ら進める事が出来るようになる。
12	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑪
13	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑫
14	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成 今期の反省、来季に向けての話し合いを自ら進める事が出来るようになる。
15	【定期試験】We areにて学んだことを活かし、実践できるようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名		【 音響技術 】 PAベーシック(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科昼間 I 部口		授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6	担当教員	仁井田正樹
教員の略歴	1999年専門学校卒業後、複数の音響会社で勤務、現在(株)音響スタッフに所属しPAエンジニアとして活躍							
授業の学習内容	①心地よい音を追求し適切な音量感を学ぶ ②スピーカー、マイクの置き位置で変化する音質を学ぶ ③学校祭で回線表などのプランニングを学ぶ ④機材の状態、メンテナンスを学ぶ ⑤PCを使い音源再生、編集を学ぶ							
到達目標	①会場に合わせた音量感を持てるようになる ②少しの置き位置で変化する音質がわかるようになる ③回線表を作成し、プランニングをできるようになる ④PCでできる作業を理解する ⑤PAベーシックで学んだことを活かし、エンジニアの引き出しを増やす							
評価方法と基準	定期テスト(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	DAWを使用し、編集調整を学ぶことができる①
2	DAWを使用し、編集調整を学ぶことができる②
3	機材メンテナンスの重要性を学ぶ①
4	機材メンテナンスの重要性を学ぶ②
5	スピーカーの置き位置、音量で音の変化を学ぶことができる①
6	スピーカーの置き位置、音量で音の変化を学ぶことができる②
7	スピーカーケーブルの作成方法を知ることができる①
8	スピーカーケーブルの作成方法を知ることができる②
9	マイクケーブルの作成方法を知ることができる①
10	マイクケーブルの作成方法を知ることができる②
11	マイクアレンジによる音の違いを学ぶことができる①
12	マイクアレンジによる音の違いを学ぶことができる②
13	バンドのサウンドチェックのポイントを理解できる①
14	バンドのサウンドチェックのポイントを理解できる②
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【音響技術】 PAベーシック(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6	担当教員	仁井田正樹
教員の略歴	1999年専門学校卒業後、複数の音響会社で勤務、現在(株)音響スタッフに所属しPAエンジニアとして活躍						
授業の学習内容	①バンド以外の演目に触れ、オペレートの違いを学ぶ ②校外イベントを通して、事前準備、チームワークの大切さを学ぶ ③ケーブルを作成し、構造学ぶ ④進級卒業公演に向けて、演目にあったオペレートスタイルを学ぶ						
到達目標	①様々な演目を経験し、エンジニアの引き出しを増やす ②技術以外の打ち合わせ、資料作成ができるようになる ③学校祭の経験を活かし、ミュージカル、卒業進級公演を成功させる ④在学中に学んだ知識、技術を活かし、卒業後即戦力になる人間になる						
評価方法と基準	定期テスト(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	セレモニー現場想定、オフマイクの対応を学ぶことができる
2	会場(小屋)との打ち合わせ手順、必要事項を学ぶことができる
3	機材メンテナンスの重要性を学ぶことができる
4	ミュージカル準備、使用機材を理解できる①
5	ミュージカル準備、使用機材を理解できる②
6	ミュージカル準備、回線表を理解できる
7	ミュージカル準備、個々の作業内容把握し理解を高めることができる
8	ミュージカル準備、校内でのリハーサルを元に現場作業を学ぶことができる
9	DAWを使いバーチャルバンドミックスを理解することができる①
10	DAWを使いバーチャルバンドミックスを理解することができる②
11	We are 準備、使用機材、作業内容を理解することができる①
12	We are 準備、使用機材、作業内容を理解することができる②
13	We are 準備、個々の作業内容把握し理解を高めることができる①
14	We are 準備、個々の作業内容把握し理解を高めることができる②
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名		【 レコーディング演習 】 VectorWorks(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	中村浩一
教員の略歴	1984年から札幌の照明会社に所属し、舞台、イベント等の照明プラン、オペレートに携わっております。業界経歴39年目を迎えます。現在は主に照明プラン、イベント図面プラン、舞台監督を主に行っております。							
授業の学習内容	VectorWorksソフトを使い、業界で即戦力としてスキルを身に着ける 舞台監督の立ち位置を理解し、現場に立つ迎えるスキルを身に着ける							
到達目標	VectorWorksのソフトを理解し、平面図、立面図を描けるようになる 舞台監督の仕事を理解して、現場での実務が出来るようになる							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	Vctorworksについて、特徴や仕組みシステムを理解できる
2	Vctorworks 基本操作を理解できる①
3	Vctorworks 基本操作を理解できる②
4	Vctorworks 2Dで図面作図方法理解できる
5	Vctorworks 図面製作① 503,4 LS-1図面制作に必要な会場の寸法測定し覚えることができる
6	Vctorworks 図面製作② 寸法測定をした会場を図面化し覚えることができる
7	Vctorworks 照明仕込図の作成理解できる
8	Vctorworks 劇場図面製作 劇場図面作成理解できる
9	VctorworksでPLOT(転換表)の書き方を理解できる①
10	VctorworksでPLOT(転換表)の書き方を理解できる②
11	Vctorworks 平面図、展開図の作成を理解できる①
12	Vctorworks 平面図、展開図の作成を理解できる②
13	Vctorworks 舞台プランの作成理解できる①
14	Vctorworks 舞台プランの作成理解できる②
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】 なし(プリント用意します)	

科目名		【 レコーディング演習 】 VectorWorks(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部□		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	中村浩一
教員の略歴	1984年から札幌の照明会社に所属し、舞台、イベント等の照明プラン、オペレートに携わっております。業界経歴39年目を迎えます。現在は主に照明プラン、イベント図面プラン、舞台監督を主に行っております。							
授業の学習内容	VectorWorksソフトを使い、業界で即戦力としてスキルを身に着ける 舞台監督の立ち位置を理解し、現場に立つ迎えるスキルを身に着ける							
到達目標	VectorWorksのソフトを理解し、平面図、立面図を描けるようになる 舞台監督の仕事を理解して、現場での実務が出来るようになる							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	Vectorworksについて、特徴や仕組みシステムを理解できる
2	Vectorworks 基本操作を理解できる①
3	Vectorworks 基本操作を理解できる②
4	Vectorworks 2Dで図面作図方法理解できる
5	Vectorworks 図面製作① 503,4 LS-1図面制作に必要な会場の寸法測定し覚えることができる
6	Vectorworks 図面製作② 寸法測定をした会場を図面化し覚えることができる
7	Vectorworks 照明仕込図の作成理解できる
8	Vectorworks 劇場図面製作 劇場図面作成理解できる
9	VectorworksでPLOT(転換表)の書き方を理解できる①
10	VectorworksでPLOT(転換表)の書き方を理解できる②
11	Vectorworks 平面図、展開図の作成を理解できる①
12	Vectorworks 平面図、展開図の作成を理解できる②
13	Vectorworks 舞台プランの作成理解できる①
14	Vectorworks 舞台プランの作成理解できる②
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】 なし(プリント用意します)	

科目名		【 照明技術 】 照明ベーシック(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部□		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	中村浩一
教員の略歴	1984年から札幌の照明会社に所属し、舞台、イベント等の照明プラン、オペレートに携わっております。業界経歴39年目を迎えます。							
授業の学習内容	1年次に覚えたことから更に深く照明に関しての基礎知識を増やす。							
到達目標	就職に向けての心構えを身に着け、協調性と積極性を高める。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績による評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	座学、実技授業 TV照明を理解できる①
2	座学、実技授業 TV照明を理解できる②
3	座学、実技授業 機材、ケーブルメンテナンス 理解し応用に役立てることができる①
4	座学、実技授業 機材、ケーブルメンテナンス 理解し応用に役立てることができる②
5	座学、実技授業 電気基礎、理解し応用に役立てることができる①
6	座学、実技授業 電気基礎、理解し応用に役立てることができる②
7	仕込替え・仕込の段取りを覚えることができる①
8	仕込替え・仕込の段取りを覚えることができる②
9	実技授業 仕込、シュート、明り作りができる①
10	実技授業 仕込、シュート、明り作りができる②
11	実技授業 仕込、シュート、明り作りができる③
12	仕込替え・仕込み図面を理解してスムーズに行うことができる①
13	仕込替え・仕込み図面を理解してスムーズに行うことができる②
14	仕込替え・仕込み図面を理解してスムーズに行うことができる③
15	前期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名		【 照明技術 】 照明ベーシック(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	中村浩一
教員の略歴	1984年から札幌の照明会社に所属し、舞台、イベント等の照明プラン、オペレートに携わっております。業界経歴39年目を迎えます。							
授業の学習内容	1年次に覚えたことから更に深く照明に関しての基礎知識を増やす。							
到達目標	就職に向けての心構えを身に着け、協調性と積極性を高める。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績による評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる
2	テキストを使用してより深い理解の為に。歴史を覚えることができる
3	高所作業 ジニーを使い安全に作業ができる
4	DMX信号、ケーブルの作成ができる
5	機材メンテナンス (機材のクリーニング、ケーブルのメンテナンス)を学ぶ
6	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる①
7	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる②
8	実技授業 仕込、シュート、明り作りができる①
9	実技授業 仕込、シュート、明り作りができる②
10	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる①
11	仕込替え・仕込み作業を安全円滑にスムーズに行うことができる②
12	実技テスト用のプランニング、明り作りができる①
13	実技テスト用のプランニング、明り作りができる②
14	実技テスト用のプランニング、明り作りができる③
15	後期定期試験
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作 (3)	必修 選択	必修選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	1年生で培った音楽制作の知識や技術をフル活用して、さらにクオリティの高い楽曲を作る技術を学びます。音楽理論やDAWテクニックはもちろん、サウンドアレンジやオーケストレーションにも理解を深めます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #1
2	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #2
3	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #3
4	シンセサイザー・プラグインテクニックを理解出来るようになる #1
5	シンセサイザー・プラグインテクニックを理解出来るようになる #2
6	リズムックアプローチ中級レベルを理解出来るようになる #1
7	リズムックアプローチ中級レベルを理解出来るようになる #2
8	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #1
9	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #2
10	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #3
11	前期課題制作 #1
12	前期課題制作 #2
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作 (4)	必修 選択	必修選択	年次	2	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	1年生で培った音楽制作の知識や技術をフル活用して、さらにクオリティの高い楽曲を作る技術を学びます。音楽理論やDAWテクニックはもちろん、サウンドアレンジやオーケストレーションにも理解を深めます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #1
2	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #2
3	コード・プログレッション中級レベルを理解出来るようになる #3
4	シンセサイザー・プラグインテクニックを理解出来るようになる #1
5	シンセサイザー・プラグインテクニックを理解出来るようになる #2
6	リズムックアプローチ中級レベルを理解出来るようになる #1
7	リズムックアプローチ中級レベルを理解出来るようになる #2
8	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #1
9	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #2
10	オーケストレーション中級レベルを理解出来るようになる #3
11	前期課題制作 #1
12	前期課題制作 #2
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。

【使用教科書・教材・参考書】 なし

科目名	【 イベント制作演習 ミュージックビデオ制作(3) 】	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	芳井勇氣
学科・コース	音楽ビジネス科昼間 I 部口						
教員の略歴	監督・映像作家 / ものかたり株式会社フィルムディレクター / 映画・TV番組・MV・PV等の映像を手がける						
授業の学習内容	映画は総合芸術と呼ばれ、撮影、編集はもとより、演技・アート・音楽など様々な分野の知見と技術で成り立っています。本講義を受講することにより、映画を学習の軸として、多様な映像演出技術を実践し、深みのある映画・ドラマ・PVを制作する技術を習得出来ます。 2年時は、1年で習得してきた技術を応用し、既存の映画のように対外的な公開が可能なレベルまで引き上げるための表現方法を習得します。						
到達目標	客観的な目線で自身の制作物を評価し、再構築を繰り返し、品質をブラッシュアップすることが出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	イントロダクション 一年時に学んだことを踏まえ、二年の目標設定を明確にする事が出来る
2	ミュージックビデオ演出概論Ⅱ① カメラワークを駆使して演出することが出来る
3	ミュージックビデオ演出概論Ⅱ② 演技の差異による効果を演出出来る
4	シナリオ制作Ⅱ① 映画ドラマのテーマとコンセプトを制作することが出来る
5	シナリオ制作Ⅱ② シナリオ理論を習得し、台本に書き起こすことが出来る
6	ミュージックビデオ制作 プリプロⅡ① 全体工程を統括するための香盤表を作成することが出来る
7	ミュージックビデオ制作 プリプロⅡ② 演出プランを作成出来る
8	ミュージックビデオ制作 プリプロⅡ③ 本番と同じようにテスト撮影を実践出来る
9	ミュージックビデオ制作制作 出演者に演出することが出来る①
10	ミュージックビデオ制作制作 出演者に演出することが出来る②
11	ミュージックビデオ制作 動的なカメラワークを実践できる①
12	ミュージックビデオ制作 動的なカメラワークを実践できる②
13	ミュージックビデオ制作 演出の狙いを正確に表現できる①
14	ミュージックビデオ制作 演出の狙いを正確に表現できる②
15	定期試験・課題提出
【使用教科書・教材・参考書】	
編集用のPCを使用します。	

科目名		【 イベント制作演習 】 ミュージックビデオ制作(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科昼間 I 部口		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	芳井勇氣
教員の略歴	監督・映像作家 / ものかたり株式会社フィルムディレクター / 映画・TV番組・MV・PV等の映像を手がける							
授業の学習内容	映画は総合芸術と呼ばれ、撮影、編集はもとより、演技・アート・音楽など様々な分野の知見と技術で成り立っています。本講義を受講することにより、映画を学習の軸として、多様な映像演出技術を実践し、深みのある映画・ドラマ・PVを制作する技術を習得出来ます。 2年時は、1年で習得してきた技術を応用し、既存の映画のように対外的な公開が可能なレベルまで引き上げるための表現方法を習得します。							
到達目標	客観的な目線で自身の制作物を評価し、再構築を繰り返し、品質をブラッシュアップすることが出来る。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	前期作品の振り返り 制作したミュージックビデオを総括し、改善点を説明できる
2	編集Ⅱ① Adobe premiere proでキーフレームを用いて編集出来る
3	編集Ⅱ② Adobe premiere proで演出意図を表現するための編集を実践出来る
4	カラーコレクション① 色補正ソフトの基礎を理解することが出来る
5	カラーコレクション② 色補正ソフトで内容に適した演色を実践出来る
6	独創的なシナリオと企画を立案する事が出来る
7	Vコンテの制作が出来る
8	衣裳やメイクを用いて、キャラクター設定を具現化出来る
9	映像の色彩やコントラストで感情表現するための撮影方法を習得出来る①
10	映像の色彩やコントラストで感情表現するための撮影方法を習得出来る②
11	効果音やサウンドでの演出を習得出来る①
12	効果音やサウンドでの演出を習得出来る②
13	演出意図に沿った編集が出来る①
14	演出意図に沿った編集が出来る②
15	定期試験・課題提出
【使用教科書・教材・参考書】 編集用のPCを使用します。	

科目名	【プロダクション実務】 楽曲制作プロダクション(3)	必修 選択	必修選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての応用知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、 レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにす る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	パソコンの基礎的な使い方、ProToolsの応用的な使い方の説明。
2	ProToolsの応用的な使い方の説明。
3	イコライザー、コンプレッサーの応用的な使い方の説明と実践。
4	AUXトラックを使った、グループやリバーブ、ディレイなどの実践。
5	オートメーションやクリップゲイン、パンの説明。アナライザーやVUメーターの使い方の実践。
6	これまでの復讐を兼ねて、INST2MIXのボーカルミックスの実践。
7	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
8	アコースティックギターとボーカルのミックスの実践。
9	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
10	ドラムの素材を用いて、位相の説明とドラムのミックス練習。
11	ドラム、ベース、ギター、ボーカルのミックスの実践。
12	【定期試験】前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
13	イベントを通しての実技演習1
14	イベントを通しての実技演習2
15	イベントを通しての課題発見と反省。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【プロダクション実務】 楽曲制作プロダクション(4)	必修 選択	必修選択	年次	2	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部						
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての応用知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、 レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにす る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	各楽器やボーカル等のタイミングエディットや波形編集の実践練習。
2	前回配布した素材を使用してミックス。
3	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
4	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
5	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
6	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
7	バンド編成のミックス。(実技試験)
8	前回の続き。(実技試験)
9	前回の続き。(実技試験)
10	前回の続き。(実技試験)
11	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
12	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
13	イベントを通しての実技演習1
14	イベントを通しての実技演習2
15	イベントを通しての課題発見と反省。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【音響技術演習】 アフターエフェクト(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部口	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	麓 拓磨
教員の略歴	1989年CMプロダクションに入社。数々のCMの演出・編集&VFXを担当。現在はフリー映像作家として活動中。						
授業の学習内容	AfterEffectsでの動画映像の加工ができるようになる ストーリーを描き、コンテに沿った動画制作の方法が身につくようになる						
到達目標	1:00のVLOG動画が作れるようになる						
評価方法と基準	定期試験（実技、筆記、レポート等）の成績により評価する						
回数	授業計画・学習内容						
1	オリエンテーション 素材の扱い方(著作権について)プロジェクトファイルツリーの構成 目標動画の解説						
2	動画編集の大まかな流れについて ストーリーの描き方(起承転結と序破急・PREP法について) 動画編集に使用するソフトの紹介とそれぞれのソフトの得意不得意分野 プレミアプロのワークフローとワークスペースの解説とファイル管理						
3	【Ae】AfterEffectsの基本操作おさらいテキストモーションとカラー調整						
4	【Ae】キーフレームアニメーションの理解。 基本的なパラメータを使用したキーフレームアニメーションの作成、動画書き出し方法を学ぶ。 動画拡張子とアルファチャンネル (学校祭の課題:写真や動画を撮ってくる説明(10枚程度))						
5	【Pr】PremiereProの基本操作理解 新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、字幕入力、トランジションの適用 及び動画書き出し カラーコレクションとカラーグレーディングの調整(学園祭で撮影した素材の使用)						
6	【Pr】BGMの選定 各BGM販売サイトの著作権についての項目を読み取る PremiereProで伸縮するエッセンシャルサウンドの使用						
7	個人制作を行う						
8	制作発表会(学園祭をテーマにした動画)						
9	【Ae】テキストアニメーションのプリセットを使用しておしゃれな動画を制作する						
10	【Ae】写真の3Dアニメーションを学ぶ Photoshopを使用しての切り抜き(背景と人物を切り分ける) AfterEffectsでエフェクトを付ける (夏季休暇の課題:写真や動画を撮ってくる説明(10枚程度))						
11	VLOGの個人制作夏季休暇をテーマにした動画の制作						
12	【定期試験】制作発表会を行い自分の技術力を知る						
13	イベントに向けて映像を制作する①						
14	イベントに向けて映像を制作する②						
15	イベント本番で作品の評価を得る						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【音響技術演習】	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
	アフターエフェクト(4)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	麓 拓磨
学科	音楽ビジネス科昼間I部□						
教員の略歴	1989年CMプロダクションに入社。数々のCMの演出・編集&VFXを担当。現在はフリー映像作家として活動中。						
授業の学習内容	AfterEffectsでの動画映像の加工ができるようになる ストーリーを描き、コンテに沿った動画制作の方法が身につくようになる						
到達目標	学校のイメージビデオが制作できるようになること						
評価方法と基準	定期試験（実技、筆記、レポート等）の成績により評価する						
回数	授業計画・学習内容						
1	オリエンテーション 映像の著作権について 目標動画の解説						
2	学校イメージビデオの制作について 字コンテ制作と映像イメージ マテリアルの制作について						
3	Illustratorの使用(導入とイントロダクション)マテリアルの制作						
4	AfterEffectsとの連携 Illustratorで書き出した素材をAfterEffectsで複数同時にアニメーションを作る ヌルオブジェクトの使用 パペットピンツールの使用						
5	【Ae】ヌルオブジェクトの使用 2ノードカメラの使用 ボケ感を演出して空気感を演出する イベントを撮影してくる(ホスピ)						
6	Photoshopで背景と人物の切り抜きを行う 被写体の自動判別と髪の毛の切り出し コンテンツに応じた塗りつぶし						
7	【Ae】2ノードカメラの使用カメラの軌道をパスでアニメーションする						
8	コンテの改良を行う						
9	学校イメージビデオの制作に入る【Ae】プリレンダーの使用						
10	学校イメージビデオの制作に入る【Ae】コラップスとシャイスイッチの使用						
11	学校イメージビデオの制作仕上げYoutubeにUPする						
12	【定期試験】個人制作発表会						
13	卒業・進級制作展を通して映像技術を身につける①						
14	卒業・進級制作展を通して映像技術を身につける②						
15	卒業・進級制作展を通して作品の評価を得る						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【映像編集】 ノンリニア編集(3)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	前期
	学科	音楽ビジネス科屋間 I 部口	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員
教員の略歴	1989年CMプロダクションに入社。数々のCMの演出・編集&VFXを担当。現在はフリー映像作家として活動中。						
授業の学習内容	Adobeのアプリケーションを横断的に使った映像コンテンツの制作						
到達目標	基礎的なビデオ編集と合成やモーショングラフィクスなどを組み合わせた映像コンテンツが作れるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	講師の経歴と、現在の映像業界全般について / 身の回りにある映像機器について正しく学ぶ(画面サイズなど)
2	Adobe premiere Proを使った、基礎的な編集(手順、カット編集)が出来るようになる
3	Adobe premiere Proを使った、基礎的な編集(手順、カット編集)が出来るようになる
4	Adobe premiere Proを使った、基礎的な編集(基本的なエフェクト)が出来るようになる
5	テレビ画面の構成 / Adobe Illustrator、Photoshopについて、基礎的な使用方法を理解出来るようになる
6	Adobe Illustrator、Photoshopの、基礎的な使用方法が理解出来るようになる
7	アプリケーションを横断的に使って、テロップを入れる事が出来るようになる
8	Adobe Illustrator、Photoshopがより正確に使えるようになる(カーニングなど)
9	アプリケーションを横断的に使って、より実践的な画面構成が出来るようになる
10	Adobe After Effectの使い方が理解出来るようになる
11	After Effectを使って、簡単なタイトルを作ることが出来るようになる1
12	After Effectを使って、簡単なタイトルを作る事が出来るようになる2
13	イベントを通して演出に合ったエフェクトの使い方を理解出来るようになる
14	イベントを通して演出に作品編集ができるようになる
15	【定期試験】イベントでの演出作品制作確認
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【映像編集】 ノンリニア編集(4)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科屋間 I 部口	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	麓 琢磨
教員の略歴	1989年CMプロダクションに入社。数々のCMの演出・編集&VFXを担当。現在はフリー映像作家として活動中。						
授業の学習内容	Adobeのアプリケーションを横断的に使った映像コンテンツの制作						
到達目標	基礎的なビデオ編集と合成やモーショングラフィクスなどを組み合わせた映像コンテンツが作れるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	ビデオコンテンツ制作を企画できるようになる
2	Adobe premiere Proを使った、小作品作りが出来るようになる1
3	Adobe premiere Proを使った、小作品作りが出来るようになる2
4	After Effectを使った高度な合成が出来るようになる
5	After Effectを使った高度なアニメーションが作れるようになる
6	After Effectを使ったスローモーションのアイデアを考えられるようになる
7	実際の例を参考にCMを作る事が出来るようになる
8	実際の例を参考にCMを作る事が出来るようになる
9	Adobe premiere Proを使って、撮影と複雑な編集方法を理解出来るようになる(マッチカット)
10	Adobe premiere Proを使って、撮影と複雑な編集方法を理解出来るようになる(モンタージュ)
11	アプリケーションを連携させた小作品作りが出来るようになる 1
12	アプリケーションを連携させた小作品作りが出来るようになる 2
13	イベントを通して演出に合ったエフェクトの使い方を理解出来るようになる
14	イベントを通して演出に作品編集ができるようになる
15	【定期試験】イベントを通して演出に作品を完成できるようになる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【グローバルコミュニケーション】 グローバルコミュニケーション(5)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	ILC
教員の略歴	*2015~2021.3 英会話イーオン 非常勤教師 *2021.5~ 株式会社国際教育社 ILC国際語学センター 非常勤英語教師として勤務						
授業の学習内容	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
到達目標	自宅での生活について話すことができる。ブログ記事を読み、書くことができる 自身のスキルや能力について話すことができる。自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。 旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する。						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	「現在進行形」陳述文(肯定形、否定形)を学ぶ。自宅周辺の生活について話すことができる。
2	「現在進行形」疑問形を学ぶ。旅行について話すことができる。
3	[-ing]の発音を学ぶ。電話でニュースを伝えることができる。
4	最近の出来事についてのブログ記事を読む、書くことができる。
5	定期試験: Time to Speak:「最近の生活について話す」後期発表と連動する内容
6	[Can/Can't](能力)を使う陳述文・疑問文を学ぶ。自身のスキルや能力について話すことができる
7	[Can/Can't](可能性)を使う陳述文・疑問文を学ぶ。職場・学校において、できること・できないことについて話すことができる
8	自分の意見を述べるることができる
9	自分の意見について、オンラインでコメントを読む、書くことができる
10	定期試験: Time to Speak:「自国民が何が得意化について話す」後期発表と連動する内容
11	[This/These]の使い方を学ぶ。休暇、旅行について話すことができる
12	[like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ; 使い分けがわかる。旅行計画を立てることができる
13	お店で情報を確認することができる
14	旅行ガイドを読む、また場所の説明を聞く
15	定期試験: Time to Speak:「休暇の予定をたてる」後期発表と連動する内容
【使用教科書・教材・参考書】 EVOLVE 1	

科目名		【 音楽制作 】 BandEnsemble(5)	必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	前期
学科・コース	音楽ビジネス科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	三藤 淳 折原 一寿
教員の略歴	三藤淳/北海道芸術高等学校講師・MMミュージックジャパン エッグ 個人レッスン楽曲制作25年 折原一寿/プロギタリストとして国内外トッププレイヤーとの共演多数、音楽専門誌での教則セミナー執筆							
授業の学習内容	課題曲を使い、各パート月それぞれ良いアンサンブルが出来るための授業							
到達目標	曲に応じてさまざまな歌い方と、アンサンブルを学び、よりスキルを上げて高い歌唱力を身につける事が目標							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	課題曲【Isn't She Lovely】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
2	ビートを感じて、歌い回しの種類を学び身につける
3	課題曲【Play That Funky Music】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
4	ビートを感じて、ファンキーな歌い方とアンサンブルを身につける
5	課題曲【Whats Going On】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
6	アンサンブルを楽しくできる様に全ての楽器に耳を傾けて良いアプローチができるように感覚を養う
7	課題曲【Sir Duke】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
8	セッション性を高めて、コードと音を理解してアドリブで歌える技術を身につける
9	課題曲【Just the two of us】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
10	原曲に忠実にアプローチして、深みのある個性を身につける
11	課題曲【Just the way you are】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
12	前期実技テスト 楽しくアンサンブルできる様にする。
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名		【 音楽制作 】 BandEnsemble(6)	必修 選択	必修 選択	年次	2	開講区分	後期
学科・コース	音楽ビジネス科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	三藤 淳 折原 一寿
教員の略歴	三藤淳/北海道芸術高等学校講師・MMミュージックジャパン エッグ 個人レッスン楽曲制作25年 折原一寿/プロギタリストとして国内外トッププレイヤーとの共演多数、音楽専門誌での教則セミナー執筆							
授業の学習内容	課題曲を使い、各パート月それぞれ良いアンサンブルが出来るための授業							
到達目標	曲に応じてさまざまな歌い方と、アンサンブルを学び、よりスキルを上げて高い歌唱力を身につける事が目標							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	課題曲【Englishman in NY】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
2	裏拍と、スイングを感じて、脱力した歌い方で、アンサンブルできるようになる
3	課題曲【I wish】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
4	細かな跳ね具合を感じて、ややシャッフルな歌い方を身につける
5	課題曲【Street Life】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
6	グルーブを感じて、カッコ良く、疾走感のある表現ができる歌い方を身につける
7	課題曲【Geogy Porgy】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
8	グルーブを感じてステージなどでも役に立つパフォーマンスを身につける
9	課題曲【Geogy Porgy】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
10	ユニゾンの正確性と、アドリブでフェイクする技術を学び、アンサンブルをしっかりと完成させる
11	課題曲【Spain】をバンド演奏し、次回に向けての課題を見つけることができる。
12	後期テスト 自分の課題点を見つけることができる。
13	WeAre週を通して周りと協力しなから作品をつくることができる
14	WeAre週を通して舞台のリハーサルを経験することができる
15	WeAre本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる
【使用教科書・教材・参考書】	

【音響技術】		必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	前期
科目名 楽曲制作コンペ対策(5)		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	新貝幸広
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部						
教員の略歴	1986年デビュー。プロデューサー、ギターリスト、作曲家、アレンジャー、エンジニアとインディーズ、メジャー問わず幅広く活動						
授業の学習内容	コンペでの楽曲制作に必要な制作時間 授業内で必要なレコーディングやアレンジなどを行う PROTOOLSを利用しMIXING作業等 作曲やレコーディング授業と連携 新しい発想を見出す						
到達目標	コンペティションの納期に間に合うように楽曲の制作をできるようにする 制作のなかで新しい発想や違った視点でチャレンジする考え方をもてるように						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	楽曲制作開始。DATA整理法を理解できるようになる
2	楽曲管理・制作ができるようになる
3	PCメンテナンスができるようになる
4	コンペ課題の要件を確認し、制作プランをたてる事が出来るようになる
5	課題曲①のメロディーを作成することが出来るようになる
6	課題曲①のメロディー・リズムを作成することが出来るようになる
7	課題曲①のアレンジを作成することが出来るようになる
8	課題曲①のミックスをすることが出来るようになる
9	課題曲①のマスタリングをすることが出来るようになる
10	課題曲②のメロディー・リズムを作成することが出来るようになる
11	課題曲②のアレンジを作成することが出来るようになる
12	課題曲②のミックスをすることが出来るようになる
13	課題曲②のマスタリングをすることが出来るようになる
14	イベントに向けてプレゼン用楽曲を制作することができるようになる
15	【定期試験】イベントに向けてプレゼン用楽曲を制作することができるようになる
【使用教科書・教材・参考書】	

【音響技術】		必修 選択	必修 選択	年次	3	開講区分	後期
科目名 楽曲制作コンペ対策(6)		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	新貝幸広
学科	音楽ビジネス科昼間Ⅰ部						
教員の略歴	1986年デビュー。プロデューサー、ギターリスト、作曲家、アレンジャー、エンジニアとインディーズ、メジャー問わず幅広く活動						
授業の学習内容	コンペでの楽曲制作に必要な制作時間 授業内で必要なレコーディングやアレンジなどを行う PROTOOLSを利用しMIXING作業等 作曲やレコーディング授業と連携 新しい発想を見出す						
到達目標	コンペティションの納期に間に合うように楽曲の制作をできるようにする 制作のなかで新しい発想や違った視点でチャレンジする考え方をもてるように						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	コンペ課題の要件を確認し、制作プランをたてる事が出来るようになる
2	課題曲②のメロディー・リズムを作成することが出来るようになる
3	課題曲②のアレンジを作成することが出来るようになる
4	課題曲②のミックスをすることが出来るようになる
5	課題曲②のマスタリングをすることが出来るようになる
6	コンペ課題の要件を確認し、制作プランをたてる事が出来るようになる
7	課題曲③のメロディー・リズムを作成することが出来るようになる
8	課題曲③のアレンジを作成することが出来るようになる
9	課題曲③のミックスをすることが出来るようになる
10	課題曲③のマスタリングをすることが出来るようになる
11	コンペ課題の要件を確認し、制作プランをたてる事が出来るようになる
12	課題曲④のメロディー・リズム・アレンジを作成することが出来るようになる
13	課題曲④のミックス。マスタリングをすることが出来るようになる
14	We are に向けて 作曲プレゼンテーション用楽曲を制作できるようにする
15	【定期試験】We are に向けて 作曲プレゼンテーション用楽曲を制作できるようにする
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(5)	必修 選択	必修選択	年次	3	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OF LINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第一回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
2	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ①
3	作詞、作曲、アレンジ、の作業を通して1曲作れるようになる ②
4	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
5	第二回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
6	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ③
7	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ④
8	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
9	第三回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
10	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑤
11	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して自分の役割をこなせるよう一歩進んだ制作が出来るようになる ⑥
12	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシートの作成、改善ポイントの話し合い、プレゼンをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	【定期試験】イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【舞台制作】 プリプロダクションゼミ(6)	必修 選択	必修選択	年次	3	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	担当教員	新貝幸広
教員の略歴	1986年CAPTUREDでデビュー後メジャー、インディーズ問わずギタリスト・作曲家・エンジニアとして活動。現在はGYZEのギタリストとしてVictor Entertainment・OUT OF LINEに所属						
授業の学習内容	プロデュース概念・定期的コンペティションの対策・音響機器等の仕組みや操作を把握						
到達目標	コンペティションの採用達成・プロデュース能力・レコーディング、作曲・アレンジ能力の向上						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	第全国大会反省会、第四回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
2	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑦
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して楽曲制作作業が出来るようになる ⑧
6	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシート作成、改善ポイントの話し合い、プレゼンの練習、人前で話す事に慣れる事が出来るようになる。
7	第五回課題 発注内容を読み制作楽曲の方向性、役割分担、スケジュールの話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
8	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑨
9	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して制作の重要なパートに取り組む事が出来るようになる ⑩
10	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシート作成、改善ポイントの話し合い、自分の意見を言えるスキルを身に付ける事が出来るようになる。
11	第六回課題 we are楽曲制作 スケジュール、役割分担をリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
12	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑪
13	作詞、作曲、アレンジ、の実践を通して個人で制作できるスキルを身に付ける事が出来るようになる ⑫
14	学内コンペ、楽曲プレゼン、コンペシート作成 今期の反省、来季に向けての話し合いをリーダーシップを持ってまとめる事が出来るようになる。
15	【定期試験】We areにて学んだことを活かし、実践できるようになる。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	【レコーディング演習】 Harmonic-Melodic concept(5)	必修 選択	必修選択	年次	3	開講区分	前期
	学科	音楽ビジネス科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員
教員の略歴	3人組ユニット「ALBNOTE」トラックメイカー、様々なアーティストの編曲やレコーディング						
授業の学習内容	アレンジメント能力を上げる事で、様々なジャンルへの制作技術を上げ、ミックス技術を持つことで、より自分の楽曲の完成像をコントロール出来るようになる。						
到達目標	ミックスでは音量バランスのとり方や、EQ・コンプレッサー等エフェクターの活用方法を学び、アレンジでは、様々なジャンルを理解し、自身の曲の完成度を高める事が出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	フェーダーワークで音量バランスを取れるようになる
2	既存の音源を使用し、波形編集が出来るようになる
3	Rockを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
4	EQ(イコライザー)の使用方法を理解し、音質調整が出来るようになる
5	Funkを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
6	コンプレッサーを使用し、音量変化の調整が出来るようになる
7	プリ・ポストの信号の流れを理解し、複雑なエフェクト調整が出来るようになる
8	HipHopを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
9	リバーブを使用し、空間/音場表現が出来るようになる
10	Discoを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
11	ディレイを使用し、空間/音場表現が出来るようになる
12	前期までに学んだジャンルと、ミックス技術を活用し制作した楽曲を提出
13	イベントでの実践1
14	イベントでの実践2
15	イベントを通しての課題の発見と反省
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【レコーディング演習】 Harmonic-Melodic concept(6)	必修 選択	必修選択	年次	3	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	森田貴裕
学科	音楽ビジネス科						
教員の略歴	3人組ユニット「ALBNOTE」トラックメイカー、様々なアーティストの編曲やレコーディング						
授業の学習内容	アレンジメント能力を上げる事で、様々なジャンルへの制作技術を上げ、ミックス技術を持つことで、より自分の楽曲の完成像をコントロール出来るようになる。						
到達目標	ミックスでは音量バランスのとり方や、EQ・コンプレッサー等エフェクターの活用方法を学び、アレンジでは、様々なジャンルを理解し、自身の曲の完成度を高める事が出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	オートメーション使用してフェーダーワークを自動化できるようになる
2	Bluesを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
3	FlexTime/FlexPitchを使用し、音声補正を出来るようになる
4	Countryを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
5	モジュレーションエフェクトの使用方法を理解出来るようになる。
6	Jazzを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
7	歪み系エフェクターを活用できるようになる
8	Bossanovaを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
9	サイドチェインの機能を理解できるようになる
10	Houseを楽曲分析し、その特徴をオリジナル曲に反映する事が出来るようになる
11	マキシマイザーを使用し、音圧を上げる事が出来るようになる
12	後期で学んだジャンルと、ミックス技術を活用し制作した楽曲を提出
13	イベントでの実践1
14	イベントでの実践2
15	イベントを通しての課題の発見と反省
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作 (5)	必修 選択	必修選択	年次	3	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	2年間で培った音楽制作の知識や技術をフル活用して、プロフェッショナルな音楽制作技術を身につけます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #1
2	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #2
3	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #3
4	ミックス・マスタリングテクニックを理解出来るようになる #1
5	ミックス・マスタリングテクニックを理解出来るようになる #2
6	オーケストレーション応用レベルを理解出来るようになる #1
7	オーケストレーション応用レベルを理解出来るようになる #2
8	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #1
9	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #2
10	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #3
11	前期課題制作 #1
12	前期課題制作 #2
13	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
14	イベント準備週/ライブイベントに向けて、学んだ知識や情報を活かし準備ができるようになる。
15	イベント/準備週で用意したものを活かし、本番のパフォーマンスが出来るようになる。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【ヴォイストレーニング】 音楽制作(6)	必修 選択	必修選択	年次	3	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間I部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	風間泰弘
教員の略歴	セピアムーンレコーズ代表。シンガーソングライター、サウンドプロデューサーとして活動。						
授業の学習内容	2年間で培った音楽制作の知識や技術をフル活用して、プロフェッショナルな音楽制作技術を身につけます。						
到達目標	自らの感性を信じ、クリエイティブな作業を通じて、新しい音楽やコンテンツを作ることができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #4
2	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #5
3	ミュージカル準備/ミュージカル公演に向けて学んだものを活かし、準備が出来るようになる。
4	ミュージカル/ミュージカル公演で、準備したものを活かし本番でパフォーマンスが出来るようになる。
5	コード・プログレッション上級レベルを理解出来るようになる #6
6	ミックス・マスタリングテクニックを理解出来るようになる #3
7	ミックス・マスタリングテクニックを理解出来るようになる #4
8	オーケストレーション上級レベルを理解出来るようになる #1
9	オーケストレーション上級レベルを理解出来るようになる #2
10	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #4
11	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #5
12	サウンドアレンジテクニック上級レベルを理解出来るようになる #6
13	後期課題制作 #1
14	後期課題制作 #2
15	We areにて学んだことを活かし、実践できるようになる。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【プロダクション実務】 楽曲制作プロダクション(5)	必修 選択	必修選択	年次	3	開講区分	前期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての高度な知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、 レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにす る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	パソコンの基礎的な使い方、ProToolsの高度な使い方の説明。
2	ProToolsの高度な使い方の説明。
3	イコライザー、コンプレッサーの高度な使い方の実践。
4	AUXトラックを使った、グループやリバーブ、ディレイなどの実践と課題演習。
5	オートメーションやクリップゲイン、パンの説明。アナライザーやVUメーターの使い方の実践と課題演習。
6	これまでの復讐を兼ねて、INST2MIXのボーカルミックスの実践。
7	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
8	アコースティックギターとボーカルのミックスの応用実践。
9	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
10	ドラムの素材を用いて、位相の説明とドラムのミックス練習。
11	ドラム、ベース、ギター、ボーカルのミックスの実践。
12	【定期試験】前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
13	イベントを通しての実技演習1
14	イベントを通しての実技演習2
15	イベントを通しての課題発見と反省。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名	【プロダクション実務】 楽曲制作プロダクション(6)	必修 選択	必修選択	年次	3	開講区分	後期
学科	音楽ビジネス科昼間 I 部	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	林悠亮
教員の略歴	株式会社ヒットスタジオ入社所属。 サウンドエンジニアとしてレコーディングやミックス等の業務に携わる。						
授業の学習内容	主にProToolsの使い方、ミックスをするにあたっての高度な知識を学ぶ。 自分のリファレンスとなるものを見つけ、理想の音に近づける感覚を養う。						
到達目標	基礎的なProToolsの使い方を覚えて、各エフェクター等の役割を覚えて実践的に使えるようにする。また、 レコーディング等にも活用できるように、できるだけ長い時間ProToolsに触れて自由に使いこなせるようにする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

回数	授業計画・学習内容
1	各楽器やボーカル等のタイミングエディットや波形編集の実践。
2	前回配布した素材を使用してミックス。
3	前回の続きのミックス、アドバイスによる修正をして課題の作品を完成させる。
4	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
5	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
6	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
7	バンド編成のミックス。(実技試験)
8	前回の続き。(実技試験)
9	前回の続き。(実技試験)
10	前回の続き。(実技試験)
11	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
12	授業でレコーディングした素材を用いて、各自エディットやミックス練習。
13	イベントを通しての実技演習1
14	イベントを通しての実技演習2
15	イベントを通しての課題発見と反省。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	